

プロロジス、BTS 型物流施設の集積パーク 「プロロジス古河プロジェクト」フェーズ 2 に着手

～プロロジス国内最大の敷地に、複数棟を開発～

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内)は、茨城県古河市において、BTS 型物流施設 5 棟を擁するインダストリアルパークの開発に着手します。

開発を計画している「プロロジス古河プロジェクト」フェーズ 2 の敷地面積は約 175,200 m²であり、国内におけるプロロジスの開発実績では、平地面積として過去最大の敷地となります。



手前: プロロジス古河プロジェクト フェーズ 2 (完成予想図) ※敷地奥はフェーズ 1(竣工済み)

■ 「プロロジス古河プロジェクト」フェーズ 2 開発予定地

「プロロジス古河プロジェクト」開発予定地は、圏央道「五霞 IC」から約 6km(約 10 分)の北利根工業団地内に開発され、茨城県と都心部をつなぐ新 4 号国道から至近に立地しています。

圏央道開通により、都心部から放射状に延びる東名・中央・関越・東北・常磐・東関東自動車道が利用しやすくなり、東北方面や関西方面へのアクセス利便性が向上しました。物流ハブとして名高い加須エリアからも約 10km とアクセスが良く、関東全域のみならず、東日本における広域配送拠点として活用されているエリアです。

■ 「プロロジス古河プロジェクト」フェーズ 2 計画概要

「プロロジス古河プロジェクト」フェーズ 2 では、約 175,200 m²の敷地に、カスタマー 1 社につき 1 棟の専

(裏面に続く)

用(BTS型)物流施設を5棟開発する計画で、入居企業を募集しています。工業専用地域の特性を活かし、さまざまな業種・用途の物流需要に応えるインダストリアルパークとして開発する構想です。

個々の物流施設は、延床面積約1万坪の規模を想定し、各入居企業の要望に合わせた施設設計を行います。医薬品や食品保管のための定温・冷蔵倉庫に対応した、ドックシェルターの装備や、飲料等の重量物保管に応える床荷重、保管効率を高める有効高さの設定、ランプウェイ付きの多層階施設、免震構造などの多様な要望にも対応します。

広大な敷地規模を活かし、パーク内で働く人のための休憩スペースやコンビニエンスストアを備えた共用棟や、給油所等の併設も検討しています。

開発地の北東隣では、「プロロジス古河プロジェクト」のフェーズ1として、合計約106,000㎡の敷地にBTS型物流施設「プロロジスパーク古河1・2・3」が稼働中です。フェーズ2の開発により、フェーズ1の入居企業にとっても、共用施設の利用、人員や保管スペースの相互融通など将来的メリットが期待されています。

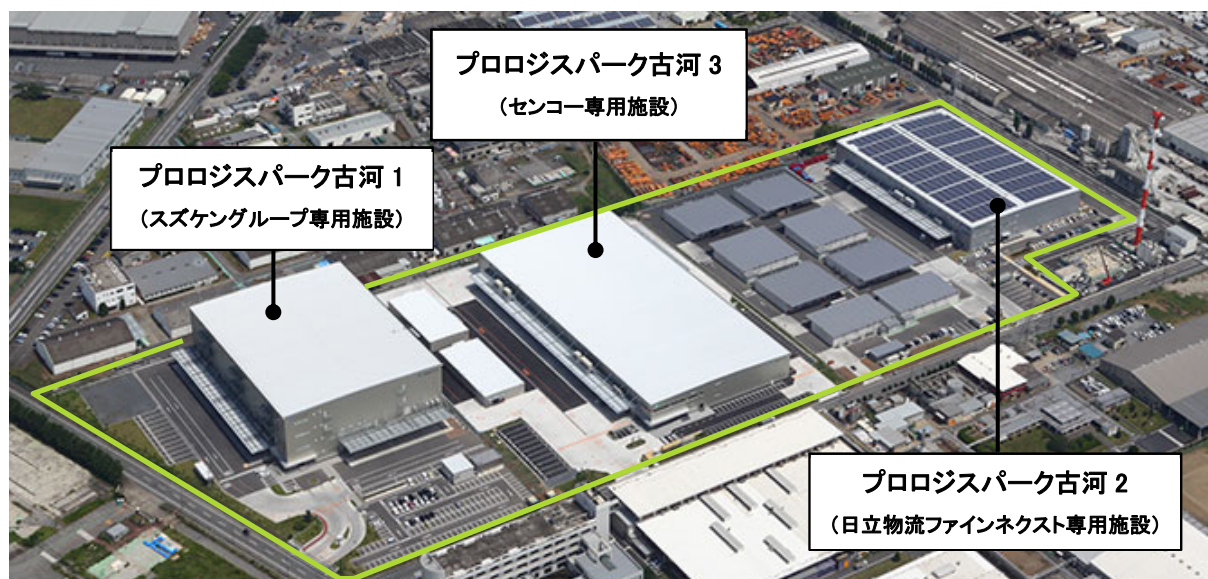
「プロロジス古河プロジェクト」フェーズ2 計画概要

名 称	プロロジス古河プロジェクト
所 在 地	茨城県古河市北利根
総 敷 地 面 積	約175,500㎡
1棟あたり延床面積	33,000㎡(1万坪)程度を想定*
着 工 予 定	2019年秋～順次着工
竣 工 予 定	2021年～順次竣工

*入居企業の要望により設計

■ 「プロロジス古河プロジェクト」フェーズ1について

プロロジスが、2013年より北利根工業団地内に開発をスタートしたBTS型物流施設の集積パーク。パーク西側の「プロロジスパーク古河1」は医薬品卸のスズケングループのBTS型施設として、東側の「プロロジスパーク古河2」は日立物流ファインネクスト株式会社のBTS型施設として、中央の「プロロジスパーク古河3」はセンコー株式会社のBTS型施設として開発され、いずれも関東広域をカバーする配送拠点として利用されています。



(次頁に続く)

■ プロロジスの専用物流(BTS 型)施設

プロロジスは、これまでに全国に 40 件**の BTS 型物流施設を開発してきました。現在は、「プロロジス古河プロジェクト」のほかに「プロロジスパーク小郡」「プロロジスパーク神戸 3」、また「プロロジス猪名川プロジェクト」の一部にも BTS 型物流施設を計画中であり、入居企業を募集しています。

**着工済み件数

プロロジスは、今後もお客様のニーズにお応えすべく、物流施設の開発・運営を進めてまいります。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム
https://f.msgs.jp/webapp/form/11859_dor_73/index.do